

着付けいらずのセパレート浴衣で夏祭りへ、大人柄レディースと"穿ける"メンズが新登場

新素材のレディースとパンツ型のメンズ浴衣が登場。2026年夏の注目花火大会情報も



夏祭りや花火大会に浴衣で行きたいけれど、着付けが面倒、着崩れが心配。そんな声に応えてきた【倭物やカヤ】のセパレート浴衣が、2026年夏さらに進化しました。 <https://bit.ly/3QqX3AC>

◆浴衣なのに、実はワンピース。レディースセパレート浴衣 2026



キャミソールワンピースを着て、上衣を羽織り、帯を結ぶだけ。着付けの知識も、誰かの手も、もう必要ありません。今年の新作は、シワになりにくく肌触りの良い上質素材。牡丹・花火・菊をモチーフにした落ち着いた色柄とともに、30~40代が自信を持って纏える一着に仕上げました。

◎宵涼みセパレート浴衣 3点セット ¥15,180



羽織・ワンピース・巾着 3点セット / 全3柄

◆浴衣なのに、ボトムスを履く。メンズセパレート浴衣、初登場



男性浴衣の選択肢は長年「着流し」か「甚平」の二択が主流でした。その常識を変えるのが、今夏初登場の「メンズセパレート浴衣」。手にしたその日から、浴衣姿が完成する帯・上衣・パンツ一体型の3点セットです。洋服感覚でそのまま着用できるのに、セパレートに見えない自然なシルエット。パンツスタイルだから裾めくれの心配も根本から解消され、付属の帯は巻くだけ。本格的な浴衣姿が整います。

◎夕涼メンズセパレート浴衣3点セット ¥18,480



上衣・下衣（パンツ一体型）・帯の3点セット／3柄展開

◆足元も、本格派。大分県産 日田下駄

浴衣姿を完成させるのは、足元の一足。日本三大下駄の産地として知られる大分県日田市の伝統工芸「日田下駄」が、3型新登場します。杉材に伝統技法の「神代焼き」を施した本格派から、モダンなデザインまで幅広くラインナップ。各2サイズ（23-25cm／25-27cm）、3色展開



アクリル下駄 ¥23,100



シラヤキ下駄 ¥8,580



カラー下駄 ¥12,100

◆結び方いらずの「巻くだけ帯ベルト」が進化中。

帯と格闘する必要は、もうありません。倭物やカヤの「巻くだけ帯ベルト」は、先端を脇の穴に通したり、フックに引っ掛けるだけで、本格的な着物帯のような印象に仕上がります。素材やデザインのバリエーションが増え、使いやすさを追求した帯が揃いました。<https://bit.ly/4ensgYC>



結び帯ベルト ¥6,380



涼風兵児帯ベルト ¥7,700



フック帯ベルト ¥3,410

◆大人の花火へ。2026年夏、注目の花火大会



浴衣で訪れる花火大会は、夏の記憶に残ります。2026年の首都圏では、プレミアム席や有料指定席が充実し、混雑を気にせずゆったりと楽しめる「大人の花火」スタイルがさらに広がっています。セパレート浴衣で、自分らしい夏の夜を。倭物やカヤが選んだ花火大会をご紹介します。→プレスリリース本文をご覧ください。

倭物やカヤ（わものやかや）について



倭物やカヤ
Japan crafts museum shop

『+NIPPON DNA』をコンセプトに、日本人が培ってきた逞しい息づかいを進化・継承しながら発信していく和雑貨ブランド。全国18店舗の直営店を展開するほか、公式オンラインショップでも購入可能です。

株式会社アミナコレクションのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/6166